

ちんちん電車&堺トラムに乗って利休にたずねよ～

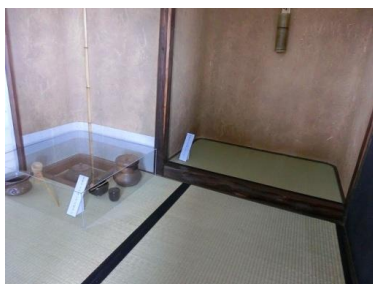


ウィキペディアより～千利休：大永2年（1522年） - 天正19年2月28日（1591年4月21日））は、戦国時代から安土桃山時代にかけての商人、茶人。わび茶（草庵の茶）の完成者として知られ、茶聖とも称せられる。また、今井宗久・津田宗及と共に茶湯の天下三宗匠と称せられた。ノ織田信長が堺を直轄地としたときに茶頭として雇われた。本能寺の夏の後は豊臣秀吉に仕えた。天正13年（1585年）10月の秀吉の正親町天皇への禁中献茶に奉仕し、このとき宮中参内するため居士号「利休」を初賜される。天正15年（1587年）の北野大茶会を主管し、一時は秀吉の重い信任を受けた。また黄金の茶室の設計などを行う一方、草庵茶室の創出・聚楽茶碗の製作・竹の花入の使用をはじめめるなど、わび茶の完成へと向かっていく。秀吉の聚楽城内に屋敷を構え聚楽第の築庭にも関わり、禊も3千石を賜わるなど、茶人として名声と権威を誇った。秀吉の政事にも大きく関わっており、大友宗麟は大坂城を訪れた際に豊臣秀長から「公儀のことは私に、内々のことは宗易（利休）に」と耳打ちされた。天正19年（1591年）、利休は突然秀吉の逆鱗に触れ、堺に蟄居を命じられる。前田利家や、利休七哲のうち古田織部、細川忠興ら大名である弟子たちが奔走したが助命は通わず、京都に呼び戻された利休は聚楽屋敷内で切腹を命じられる。

映画「利休にたずねよ」セットの待庵

調査日：2013年12月9日

（堺市役所21階展望ロビー）↑期間限定で現在はありせん



千利休屋敷跡





利休の茶の湯の師、武野紹鷗は文亀2年(1502)大和(奈良)で生まれ、のら堀に移った。皮屋の号を持つ豪商の一人。若い頃、京で三条西実隆に和歌を、村田珠光一門に茶の湯を学び、堀に帰って津田宗及、今井宗久、千利休らに珠光のわび茶を伝え、特に宗久と娘婿にして財産・茶器を譲った。茶人北向道陳らと交友し、南宗寺の開祖大林宗套に禅を学んだ。南宗寺には紹鷗の供養塔があり、この供養塔に耳をあてるとシェンシェンとお茶の湯を沸かす音がするという。

たけの じょうおう やしき あと

武野紹鷗屋敷跡



いまい やしき あと

今井屋敷跡



あぐち じんじゃ

開口神社

ちようさび ねん がつ にち
調査日：2014年5月19日

どうき けいだい ねんぶつ た けうかい ほうとう た ゆいしよ じんじゃ ねんぶつ
行基が境内に念仏寺と建て、空海が宝塔と建てるなど由緒ある神社。念仏寺
の壁を修復した際の紀付録に14歳の利休と考えられている「せんしろう
の名前があり、利休の名前が初めて確認できる史料となる。(利休新聞より)



スロープがあるね。



いしだみ つうろ すす
石畳の通路があって進みやすいね



ここもスロープがあるね。



さいせんい
お賽銭入れて、



ねが こと
お願い事しよっと。



くるま
手水舎は車イスでも行けそうかな

お ようちゅうい
ココ、落ちないように要注意だね。



ほか とりい
他にも鳥居があるよ



さいせんばこ
賽銭箱まではスロープがあっ
てお参りできたね。でも利休さ
んのことは書かれてないね。



みょうこくじ
妙国寺

ちょうさび ねん がつ
調査日：2014年5月19日

けいだい じゅれい ねん だいそつつ くに てんねんきねんぶつ そまつ と ま いしごみ ほんどうひがしかわ
境内の樹齢1100年の大蘇鉄は国の天然記念物。蘇鉄を取り巻く石組と本堂東側
ていせん さかいしつてい ぶんか ざい ていせん せんりのきょう きざう ろくじざう どうろう
庭園は堺市指定文化財。庭園には、千利休 が寄贈したといわれる「六地藏灯籠」
や「瓢箪型手水鉢」がある。(利休新聞より)



うっ、入口に段差があるね…



溝もあるぞ!!



ここは車イスでは入れないね

けいだい にゅうじょうりょう ひつよう じゅれい 1100
境内の入場料 が必要なところには、樹齢1100
ねんよ だいそつつ くにしてい てんねんきねんぶつ
年余の大蘇鉄(国指定の天然記念物)があるんだけど、
くつ め あ ばしよ かいだん だんさ くるま
靴を脱いで上がる場所で、階段や段差もあって車 イ
スでは厳しそうだったよ～、残念!



てみすや りゅう で びか
手水舎の龍 がお出迎え



みょうほうじ
妙法寺

ちょうさび ねん がつ
調査日：2014年6月9日

ききょう さいしょ らふ ゆ ししょう たけの とも ほくこうどうらん ねむ
利休の最初の茶の湯の師匠であり、武野の友であった北向道陳がここに眠る。
道陳が利休の才能を見抜き、武野に推薦してその弟子にさせたとされている。
(利休新聞より)



いりぐち だんさ つうろ
入口に段差はないし、通路は
いしだみ すず
石畳 で進みやすいね。



かいだん さいせん い
階段があるね。お賽銭は入れ
られるかな…



はんかいでんしゃ 阪堺電車



宿院駅のホーム狭いね



ききゅう 利休ゆかりのお寺などが、はんかいでんしゃ「宿院」周辺に多くあります。ぼくら赤おに
メンバーがはんかいでんしゃを利用するなら「天王寺駅前」や「阿倍野」が場所的には便利
なのですが、「天王寺駅前」はホームまで階段があって車イスでは使いにくく(車
イスをかかえたら利用できますが)、「阿倍野」は住吉方面のホームが狭すぎて車イス
のままホーム上に乗れません。なので、遠回りですが、南海「なんば」駅から「堺」
駅へ行き、そこから徒歩でききゅうの寺めぐりをして、かえりだけ「宿院」からはん
かいでんしゃの「阿倍野」で降りました。天王寺駅前方面の「阿倍野」のホームは少し
ひろめです…



うーん、車内まで3段あったよ(阿倍野駅)



あべのえき 天王寺方面 ホームは広めだね

でんしゃ
ちんちん電車

さかい
堺トラム



でい
出入口は、ノンステッ
プだよ



ちゅう 途中の駅① (段差が
ないね)



ちゅう 途中の駅② (ホームが
狭くて落ちちゃうね)

さかい 堺トラムは段差もなく、の
乗りはいいね。
あと ホームが問題だね (byみっちー)

